

「沖縄観光親善大使制度(仮称)のあり方検討」に関するアンケートのお願い

■実施の背景

当財団では1981年より「沖縄観光親善大使ミス沖縄選出事業」を実施しており、これまで計120名の観光親善大使を選出・輩出、年間平均延べ450日の派遣に従事してまいりました。一方、当事業が立ちあがった40年前から今日まで、社会的環境の大きな変化などもあり、沖縄観光親善大使ミス沖縄が担う役割も従前のスタイルから脱却する必要性や、観光情報発信の手法等について再考する時期にきたと考え、当財団で検討を重ねた結果、令和5年度より本事業を休止しております。いま一度変化と向き合い、社会ニーズや時代の流れにあった情報発信手法を再考し、新たな形での観光PRのあり方を検討してまいります。

具体的な検討にあたっては、外部有識者*を交えた検討委員会を設置し、議論を行う予定ですが、広く一般のみなさまからもご意見を募り、その意見を考慮することでより本質的な検討に繋げていきたいと考え、本アンケートを実施する運びとなりました。

*学識経験者、観光分野有識者（文化・スポーツ含む）、物産分野有識者、IT分野有識者、観光親善大使経験者等

■対象

県内外すべての方

■回答方法

右記QRコードもしくはURL（<https://forms.gle/ra7Kqdh87YQvRMJZ7>）よりアンケートにご回答ください。

■回答期限

2023年8月6日（日）23:59まで

■検討の流れ

本アンケートの回答を集計し、外部有識者を交えた検討委員会の参考資料として活用させていただきます。「沖縄観光親善大使制度の在り方検討」の結果については、検討終了後に当財団HPおよび記者発表にて情報公開いたします。

■問合せ先

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
企画施設事業部 企画課（高安・坂本）

TEL 098-859-6126

メールアドレス s.takayasu@ocvb.or.jp



アンケート項目

【1】 回答者の属性について

- ①居住（県内・県外〔 〕）
- ②年代（10代・20代～30代・40代～50代、60代以上）
- ③性別（男性・女性・その他・回答したくない）
- ④職業（会社員・自営業（フリーランス、個人事業主を含む）・経営者／役員・公務員・パートやアルバイトなど
・専業主婦／専業主夫・学生・無職・その他）

【2】 以下の④⑤⑥の参考情報をご覧ください、【2-1】以降の設問にご回答ください

参考情報A 沖縄観光親善大使ミス沖縄の沿革

- ・1970年代以降の沖縄観光の発展に向けて、国内外に向けた沖縄観光PRを強化することを目的に、1981年「観光コンパニオン ミス沖縄選出」事業を開始。
- ・当時は誘客宣伝業務として国内外を直接訪問し、観光イベントや公式行事などへの参加を通して、対面でふれあい声を届けることで、沖縄観光のPRを行っていた。
- ・SNSの普及により情報がより身近になるなど情報発信の手法が変化した。
- ・ジェンダー平等の提唱により、男女の格差を是正するだけでなく、
全ての人が自らの能力を最大限発揮するための機会を享受することが求められていることから、新たな親善大使のあり方を検討するとの判断にいたり、活動休止の運びとなった。

参考情報B ミス沖縄の活動内容

親善交流を担う「観光親善大使」として、国内外における観光関連催事や公式行事等において、沖縄県の観光PRやイメージアップのための活動に従事。具体的には、県知事に同行する国内外のトップセールス、観光関連催事や公式行事、物産展、スポーツ、MICE、修学旅行等のイベントにおけるスピーチやマスコミ露出、メディアキャラバンにおける沖縄県のPR、SNS等を通じた情報発信などに取り組む。

アンケート項目

参考情報C 他の事例

(1)都道府県レベルで観光親善大使制度を設けているのは47都道府県中6県で、いずれも性別・未婚既婚を問わず公募を実施している。

【都道府県レベルで観光親善大使制度を有している事例】

とちぎおもてなしメイツ（栃木県）、越前若狭の観光宣伝隊（福井県）

和歌山県観光キャンペーンスタッフ（きのくにフレンズ）、とっとり観光親善大使（鳥取県）、しまね観光大使（島根県）
観光アシスタント広島きんさいと（広島県）

(2)観光PRの手法として、ご当地キャラクターやVチューバー（バーチャルYouTuber）を活用している事例も多数ある。

【ご当地キャラクター】

（沖縄県）

沖縄観光PR大使花笠マハエ



沖縄観光PR大使マハ朗



熊本県 くまモン



滋賀県彦根市

ひこにゃん

<http://gotouchi-chara.jp/chara/hikonyan/>

千葉県船橋市

ふなっしー

<http://gotouchi-chara.jp/chara/funassi/>

【Vチューバー（バーチャルYouTuber）】

（東京都観光大使）

さくらみこ

森カリオペ

がうる・ぐら

<https://www.moguravr.com/tokyo-tourism-ambassador-vtuber/>

（あいち観光バーチャルサポーター）

「キミノミヤ」

<https://vtuber-post.com/news/news-other/5351>

（埼玉県バーチャル観光大使）

春日部つくし

<https://chocotabi-saitama.jp/vtuber/>

アンケート項目

【2-1】 今後の観光PRとして積極的に進めていくべきと思うものを最大2つ選択ください。（複数回答）

- ①現行の沖縄観光親善大使制度を継続し（女性限定）、これまで同様観光プロモーションで活用していく
- ②現行の沖縄観光親善大使制度を見直し、男女問わず募集したうえで、観光プロモーションで活用していく
- ③ご当地キャラクター（沖縄観光PR大使花笠マハエ等）を活用し、観光プロモーションで活用していく
- ④デジタルにおいて架空の人物（バーチャルタレント）を新設し、SNS等で観光プロモーションを実施する
- ⑤沖縄観光親善大使制度そのものは必要ない
- ⑥その他（FA）

【2-2】 観光親善大使制度を継続する場合、こういった観光PRの役割を求めますか。求める項目を2つ選択ください。（複数回答）

- ①沖縄の魅力を言葉（スピーチ）で伝える
- ②沖縄の魅力を伝統芸能等の実演で伝える
- ③沖縄の魅力を映像・文字で伝える
- ④式典、表彰式の介添え、各セレモニー等での花束贈呈・写真撮影等を行う（スピーチ等なし）
- ⑤その他（FA）

【2-3】 沖縄観光の魅力を発信するうえで特にPRすべきと思うものを2つ選択ください。

- ①沖縄全般
- ②沖縄の自然
- ③沖縄の歴史
- ④沖縄の文化・芸能（空手、琉球舞踊など）
- ⑤食、特産物
- ⑥その他

【2-4】 ご当地キャラクターの観光プロモーションにおける活用について、どのようなキャラクターが良いと思いますか。（単一回答）

- ①沖縄観光PR大使花笠マハエ・マハ朗を活用する
- ②ふなっしーのような特産物を活用したキャラクター
- ③くまモンのように地名を文字ったキャラクター
- ④ひこにゃんのような歴史と関連づけたキャラクター
- ⑤新しいご当地キャラクターを作成する
- ⑥その他（FA）

【2-5】 デジタルにおける架空のキャラクター（バーチャルタレント）について、どのようなキャラクターが良いと思いますか。（自由記述）

【2-6】 沖縄観光のプロモーションについて、他にご意見があれば記入ください。（自由記述）